

■活動アイデアリスト■

※7つの行動アイコンは、各活動アイデアの内容をアイデア応募者がイメージしたものです。

- サロベツを見つけよう
 サロベツの話をしよう
 サロベツを楽しもう
 サロベツのことをまとめよう
 サロベツを発信しよう
 サロベツの利用ルールを作ろう
 サロベツでつながれよう

▼以下の活動アイデアについては活動実施者を募集しています。ふるってご応募ください。

番号	活動アイデア名	内 容	時期	7つの行動
1	見て楽しむサロベツツアー	サロベツ湿原をテーマとしたネイチャーツアー。（聴覚障害者（ろう・難聴）も参加できる手話や文字情報によるガイド付き）視覚的な情報サポート（文字や写真を活用）した解説を行いながら、『見る』という視点でのサロベツの情報を参加者に伝える。	視覚的にわかりやすい夏期（活動に変化を持たせると四季で可能）	
2	サロベツエコツアー	サロベツ地域の成り立ちや生態系を学ぶ現地観察ツアー。	7～11月の間	
3	サロベツ原野 花いっぱい運動	サロベツ原野に咲いている花はなあ～に！ここにしかない花を見つけよう！！	花の美しい時期	
4	サロベツオリエンテーリング	オリエンテーリングをしながら自然に親しむ。	春か秋	
5	フットパスルートを 活用しよう	サロベツの名所の再発見をめざす。ツアーを計画する。	通年（可能な時期に）	
6	流星群の夜に出かけよう！ サロベツ星空観察会	ペルセウス座流星群のピークの夜にスターウォッチングを行う。実施場所は大規模草地牧場。時間は夜19時頃より1時間程度。寒いのでシュラフに入って草の上に寝転びながら流れ星を見たり、天体の知識のある人から一般的な夏の星座についての解説を聞く。寒いので、ホットミルク、ホットコーヒーなどのドリンクを提供する。	ペルセウス座流星群の時期（8月中旬頃）	
7	サロベツ原野でキャンプを しよう！	キャンプをして、その地域に育っている植物の観察！自然と一体となれるように。	夏も良いが厳冬の中 の体験もあつかな	
8	ぼくらは湿原保護官	【概要】豊富町の産業の一翼を担う「林業」を体験する。 （内容詳細については別紙①をご参照ください）	「湿原保護官」の任期しだい	
9	冬の自然観察会	自然が豊富な宗谷管内においても、特に良好な自然が残る稚内内海岸砂丘林において、積雪により立入りが容易になる冬期に歩くスキーやスノーシューを使った自然観察会を実施し、身近にありながら普段触れる機会の少ない貴重な自然と接することで、地域への自然環境への理解を一層深める。	厳冬期（2月）	
10	冬のいきものウォッチング	冬の活動する野生動物の観察会で、かんじきやスノーシューを履いて林の中などを歩いて雪上に残る足跡などから冬の野生動物の行動を想像したり、木々の冬芽観察（児童書「冬芽がっしょうだん」参考）をして、ひつじ星人を探したり、冬ならではの観察会を楽しむ。	冬（2月か3月）	
11	サロベツの河を楽しもう	サロベツ川・放水路をボート等を利用して下る。（川から見た原野・草地風景、水鳥・ヒシ等の水草の観察、つり、ボートレース）	春の増水時期 秋の水鳥が来る時期	
12	熱気球でサロベツ湿原の 雄大な広さを感じよう	熱気球からサロベツ湿原の雄大な風景を風を感じながら見てもらう（有料）	6月～8月末	
13	風の音楽 ペルー・ポリビアの 民族音楽フォルクローレの調べ	風の音楽「フォルクローレ」をサロベツ湿原を会場に開催し、湿原の意味を共感してもらう。	6月～8月末	
14	空からサロベツを眺める ”パノラマ・ツアー”	飛行船（日本郵船関連）と熱気球で空からサロベツを優雅に眺める少数精鋭型ツアーを企画開催する。利尻礼文、猿払、稚内などを周遊して道北を満喫するのもいい。	記述なし	
15	冬の風に乗って” 新型乗り物 体験ツアー” づくり	原野を吹き抜ける冬の西風を利用しない手はない。ソープ（人間大の風船に人が入り転がるのりもの）や、風で走るドーム型ゴムボート（雪上ラフティング）、パラセーリングならぬパラスキー、エアボートなどなど。一大挑戦イベントにするもよし、ヨセミテのエルキャピタンの如く世界からツワモノにチャレンジしてもらうもよし。	記述なし	
16	一生に一度は行ってみたい ツアーの企画	一生に一度は行ってみたい珠玉のツアーを作り出す。年間に参加できる人数はごく制限され、値段は高価、5年先まで予約がいっぱい・・・。カヌーで巡るサロベツ川と砂丘林湖沼、パンケ沼と砂丘林探検・・・。地域の熟練したガイドとともに巡る極秘の『日本のラストウィルダネス』。自然への影響は限りなくゼロに。	特になし	
17	サロベツ☆工場見学。	サロベツでどんな産業が行われているか、皆で見てみる。酪農だけではなく、今も行われている泥炭採掘など、各産業の『現場』を見学して、地元の産業を知る。	通年	
18	サロベツ自慢ツアー	サロベツはこういう良いところで、こんな再生事業をやっています、という地域紹介と再生事業の視察を兼ねたツアーを年1～2回開催。今後視察申し込みが増えると思うが、それを度々やるのではなく、時期を決めて「この機会にご参加ください」と全国にお知らせする。現地視察と地場のおいしいモノ、観光等をセットにしてコーディネートしてくれたら、全国の自然再生に関心のある人は大変うれしいのではないだろうか。またそのような人が集まることで情報交流・意見交換なども可能かと。サロベツを思いっきり自慢してください！※現地集合、現地解散。宿泊・移動費は参加者から徴収。ツアーのイメージとしては、霧多布のファンクラブ会員の方を案内するツアーです。	現地案内を実施しやすい時期	
19	サロベツ宝探しげ～む！	キーワードを与えて、何か面白いもの、他の発信したい情報を探し当ててもらう！	年間を通して！	

▼以下の活動アイデアについては活動実施者を募集しています。ふるってご応募ください。

番号	活動アイデア名	内 容	時期	7つの行動
20	サロベツわらしべ長者	サロベツ発の「わら（？）」が、物々交換を繰り返しながら旅をします。わらから始まり、ついにはお城に！？人は旅せずに、モノだけが人づてに旅を繰り返します。ただし、物々交換の際は「サロベツのことを伝える」ことがルール。モノとセットで、デジカメを渡すことで、移り変わっていくモノの近況を把握し、専用ブログで公開。また、「旅ノート」もセットで渡します。これには、モノを交換した人が気の向くままのことを気楽に書いてほしい（後で公開することも想定）。これにもサロベツの魅力や自然再生について書いておくことでPR度アップ！	5月以降～2月頃を予定	
21	サロベツ湿原 蛭をさがそう！	サロベツ湿原にホタルが生息していないか調べたり、勉強会を行う。	7月下旬～8月上旬	
22	サロベツ自然環境体験学習会	サロベツ原野及び周囲の環境観察、調査を実施する。 サロベツ原野の海岸漂着物調査（例：（財）環日本海環境協力センター、クリーンアップ全国事務局による調査手法による。） 森林植生状況（必要に応じて植林の実施）	年4回テーマ毎に	
23	アイヌ語地名の景色を探そう	アイヌ語の地名は、地形や景観、生活関連など身近なことからつけられています。アイヌ語の地名が示す景色を、色々探してみませんか。	5月～9月	
24	「サロベツ総合調査開始50周年記念事業準備会」の結成	平成23年（2011年）に昭和36年（1961年）に自然および社会環境を包含したサロベツ総合調査が開始されてから50周年を迎えます。当時収集された情報はその後のサロベツ発展の基礎となりました。それらの情報をあらためて収集し、将来につなげましょう。	5月中旬に準備会を結成し、方針を確定する。	
25	サロベツを写そう！	サロベツの自然や動植物を写真に撮り、新しい発見をするともに、展示会等により多くの方に知ってもらふ。	花が咲く季節など	
26	空から眺めるサロベツの自然	サロベツ地域で撮影された空中写真を大判で印刷し、体育館等の床に展示します。地図の上に乗ったり、写真を貼ったりできます。主に小学校や中学校の地域学習や湿原を守るための啓蒙活動を想定しています。	2008年の夏休み時期	
27	郷土芸能の一つとして「とよとみサロベツ太鼓」の復活	昭和49年、利尻礼文サロベツ国立公園誕生記念として生まれたサロベツ太鼓ですが、約15年後には継承する人材不足により現在は活動されていません。なんとかこの機会に郷土を愛する人達を集め、この太鼓を復活できれば…と考えています。	3月頃から始め、観光シーズンには活動できれば。	
28	テーマソングを作って世界にサロベツを発信しよう！	内外の人々を巻き込んで話題性のあるテーマソングを完成させ、PR素材として活用してサロベツ自然再生への関心を集める。イメージとしては、 ① 歌詞を公募し、選考委員会等で歌詞を決定する。 ② 道職員で構成するアマチュアバンド（国境マンガース）で作編曲・音源化を行い（3パターン程度）、そのうちいいものを選考委員会でテーマソングとして決定。 ③ お披露目やイベントでの出張演奏の他、各種PRで使用。 ④ PVは湿原内で制作し、大自然の素晴らしさを前面に押し出す内容とする。	特になし（制作期間が必要）	
29	サロベツ 光と音と虫との出逢い	サロベツを題した作詞、作曲を求め、夜間にかけて音楽祭をし、昆虫との出逢いを体験する。	6月下旬～7月一杯	
30	「サロベツ学会ーサロベツファンクラブー」の結成	サロベツに興味を持つ人が自由に自分の考えを話し、意見を述べ合う場をつくりましょう。1年に1～2度サロベツに集まり、一人15分程度、自分の意見やアイデアを話しましょう。年会費は500円程度です。	毎年11月ころ	
31	サロベツ昔話を聞いてみよう	豊富開拓の歴史を町内の年長者などをお願いして開拓当時や開拓後の話をしてもらおう。あれば写真なども見せてもらい、当時の様子について語り合う。	通年可能(比較的行事の入っていない冬期間が望ましいと思います)	
32	サロベツマップ作り	サロベツの酪農体験（乳しぼり、バター作りほか）のマップを一目で分かりやすいようにつくる。	3～4月（農閑期）	
33	サロベツ名産品の本を作る	サロベツの名産品を調べて一冊の本を作る。	年間を通じて	
34	サロベツすごろく作り	サロベツ原野を主題に面白おかしく、尚かつ少々勉強して、サロベツ人になろう！！	通年（可能な時期に）	
35	行動計画ニックネーム＆ロゴマーク大作戦	行動計画のニックネームとロゴマークを一般公募で募集する。選考は、WG、普及部会員に頼るほか、VC等での一般投票も行う。	いつでも	
36	押忍！我ら豊富町『カレー部』！！	豊富町名産のあんな品、こんな品。はたまたサロベツ原野で採れる意外な（？）食材を使って名物カレーを作っちゃおう！	夏場（屋外作業）	
37	イメージCDとイメージDVDの作成と販売そしてとことん流す	サロベツの四季の風景や空気をイメージした音楽CDと風景DVDを作成し、道北各所で販売するとともに、公共施設や公共空間で、あるいは観光バスや各種会議のBGMとして、多くの場所でこれを流し、常に空気を包み／作り、地域の人々や訪れた方々のイメージと感覚とを結び付け、ブランドイメージを創造する。	記述なし	
38	サロベツの自然と人々を紹介したDVDコレクションづくり	サロベツの①開拓の歴史、②まちの暮らしと生業、③自然と生き物、④サロベツの科学、⑤サロベツの楽しみ方、の教育と観光を狙いとしたDVDシリーズを作成し、地域の人々の学習に役立ててもらおうとともに、通信販売でサロベツファンの予備軍を全国に広げていく。	記述なし	

▼以下の活動アイデアについては活動実施者を募集しています。ふるってご応募ください。

番号	活動アイデア名	内 容	時期	7つの行動
39	おみやげにパソコン用 壁紙ソフトはいかが	サロベツの美しい湿原風景・田園風景が、毎日日替わりしてパソコンの壁紙に現われるソフトCDを作成してお土産として多くの人に利用してもらおう。米国などでは観光みやげとして各地でよく売られており、とても使い心地がよい。サロベツのイメージづくりとPRに役買うものと思う。	記述なし	
40	地域限定景品 サロベツフィギュアをつくる	湿原の向こうにそびえる利尻山、牧草ロールが点在する草地、エソカンソウとシマアオジ、乳牛と牛乳瓶、コモチカナヘビ、豊富温泉……。海洋堂と提携してこれらのフィギュアを作り、地域化限定景品として、数箇所の施設を巡った人、〇〇円以上の買い物をした人、あるイベントに参加した人、リピーター、物産品宅配会員……。に提供するなど、プレミアム化戦略を取ると面白い。	記述なし	
41	サロベツde手拭いづくり	サロベツらしい絵柄の手拭いを作ります。デザインはサロベツを感じさせるものなら自由。サロベツの植物をひとつ使って、染物の材料にしたい。 ※ただし採取の禁止されたエリアに咲く植物や、希少な植物については、絵に描くだけとする。	手拭い作りの可能な時期ならいつでも	
42	サロベツブランドを またひとつ！	サロベツのビートをウイスキー醸造の材料としてメーカーに提供する。サロベツの名が商品名につけば格好の宣伝になるのでは？実際のところ、冷涼で海岸そばの泥炭はウイスキー造りに適しているらしく、期待ができる。	企業への売り込みだけなので、いつでも。	 
43	自然本物シリーズ エゾ鹿と豚の合挽き肉のアン トレ2種	欧米の病院・老人介護施設・会社等の給食に留まらず、ここ数年はわが国でも導入が進んで来た、クックチルシステム（安全な作りおきの調理生産システム）を利用した食品生産と販売活動とする。チルドで4週間、冷凍で数ヶ月間保管できる、主菜（アントレ）となる洋食の惣菜で、料理の種類は2種類限定とし、「エゾ鹿と豚の合挽き肉のクリームシチュー」および「エゾ鹿と豚の合挽き肉の煮込みハンバーグ」とする。鹿肉と豚肉のほか、前者には豊富町の牛乳が主要食材として使用され、後者には、たとえば羽幌町産のトマトが使用される。「自然本物シリーズ」と銘打って、2人分・10人分を単位とした袋詰め形態とし、インターネットを活用して販売する。クックチルシステムは、冷却法によって2種類に分類され、空冷法と水冷法があるが、ここでは導入コスト・冷却コストともに低く抑えられ、かつ保管期間が長い水冷法の一つ、バックチル®システムを採用する。バックチル®システムを構成する機器は、袋詰め作業のためのパッカー、バックチラー®、及び密封作業のためのシーラーである。	必要な食材や、調理・生産に必要な機器がすでに市場にあるため、すぐにでも着手可能と思われます。	 
44	昭和の風情を偲ぶ	【概要】「兜沼キャンプ場」を組み込んだ兜沼市街地を「エコ・ミュージアム＝昭和の町」に見立て、多くの観光客が訪れる「キャンプ場営業期間」に「昭和の町並み」を再現する。 （内容詳細については別紙②をご参照ください）	キャンプ場営業期間。小学校の現地学習等は時期を選ばない。	  
45	伝えていこう湿原の記憶 未来につなげるサロベツの 農地・湿地	条件不利な農地に遊水地機能をもたせ、農地⇄湿地の互換性を試験地を設定し、モニタリングする。町民参加によるモニタリングを通じ、サロベツ泥炭地の不思議さを体験する。あわせて、周辺整備をして美しいサロベツの地域づくりに寄与し、農村振興に役立つ活動内容を模索する。	通年	  
46	ちょっと高見の見物 ”キャノピー展望台”	湿原は平坦な地形なので、ちょっと視点を上げるだけで見える世界ががらりと変わる。道産木材を使って丸山あたりに展望塔を作り、サロベツに一味違った宇宙を生み出してはどうだろうか。樹冠にキャノピートレイルを作るのも新鮮な風景の楽しみ方になる。	記述なし	

▼以下の活動アイデアについては、アイデア応募者単独で実施するため、他の実施者を募集いたしません。

番号	活動アイデア名	内 容	時期	7つの行動
47	ゴートゥーノース ツールド蝦夷	【概要】小樽～宗谷岬370km2日間のサイクリングのイベントを考えています。もっと景色や走ること、そして地域とのふれあいを楽しむ会があればと思っていました。 （内容詳細については別紙③をご参照ください）	2008年6月22日 （日）	  
48	夏のポニーの馬車と 冬の馬ソリ	ポニーを使って温泉街を中心とした豊富な観光案内や体験会をする。夏は、ポニーの幌馬車による観光案内、ポニーの乗馬体験会。冬は、馬ソりによる観光案内をする。	夏と冬	  
49	農業農村整備事業 現場見学会	豊富町内の小学生を対象に、国営総合農地防災事業の現場見学や、農業用排水路での生き物調査などを行い、農業と湿原について学習する。	夏休み（7月～8月）	
50	サロベツ地域の暮らしと 農業パネル展	サロベツ地域は開拓等によって開発された地域で、現在は大規模な酪農地帯に成長し、自然環境との調和に努めながら営農を行っている。このサロベツ地域の農業・人々の暮らし・自然環境との共存に関するパネルや写真を集めて、イベント会場や役場等の機関において展示会を開催し、住民は元より一般住民に対しても広く、地域振興と自然環境への理解と協力を求めていく。	地域のイベントと連携したいので、その開催時期に併せて行いたい。	 
51	サロベツを学び発信しよう	サロベツの自然景観農村景観や、動植物の観察調査研究を体験しながら、保全活動、啓蒙発信及び指導者、解説者ガイドの育成を図る。	四季を通して 4月から翌年3月まで	  

活動アイデアNo.08「ぼくらは湿原保護官」

「活動アイデアの内容」（詳細）

豊富町の産業の一翼を担う「林業」を体験する。ペンケ沼の閉塞など湿原に流れ込む大小河川上流域における「①河岸崩落地からの土砂流出」と「湿原埋塞」の関係を体験する。多彩な「湿原保護官の任務」を通して様々な「自然の摂理」を学び、一見「湿原再生」とは懸け離れた「植林・造林などの山仕事」が、実は湿原・ペンケ沼・砂丘林帯湖沼群の水分収支を支えていることの理解を深める。

さらに、副産物としての「きのこ栽培」「炭焼き」体験など、多岐に亘る「任務」は活動に参加した子供達への「ご褒美」の意味も含めて楽しいものとする。

-
- A. 上流域における①河岸崩落地の探索は、ペンケ沼を出発地に「カヌー」等で遡上する。その昔、上流域で伐採された木材の運送には、メナシベツ川・エベコロベツ川等を利用し、豊徳の止場から天塩までは筏に組んで流送していた。その流送ルートを遡る。当時の「筏乗り人夫」の出面賃は、普通人夫の3倍も稼いだと言う。熟練人夫は阿波・栃川、遠く徳島辺りからも来ていた。我が「湿原保護官」のご褒美も「筏乗り」の稼ぎに見合うものとしよう。この人夫の中には仕事が終わっても越年して帰郷しない（できない）者もいた。稼ぎが良かった分、博打や女郎蜘蛛に・・・・・・の話は、勿論禁句である。
- B. 崩落地発見次第、その処置として「植林任務」を遂行する。所要資材は企業エコワーク運動の一環「植樹活動」を利用する（ISO14001認証取得企業活動の一環）。具体的には「カミネッコン仕立ての苗木」の提供などを受ける。
-

行いたい時期

当時の流送は、5月初旬から約一ヶ月、6月初旬から7月末までとある。植樹に供する「カミネッコン」は時期を選ぶものではない。「湿原保護官」の任期次第。

活動アイデアNo.44「昭和の風情を偲ぶ」

「活動アイデアの内容」（詳細）

元号「平成」も早いもので「元服」を迎え、最近は「昭和の建物や町並み」を復元した催事が盛況を博し、「Always3丁目の夕日」も2作目が放映されました。

札幌などでは画一的なコンクリートの塊が乱立し、ランドマーク（陸標）然とした町並みが失われてしまいました。正に「何処を切っても金太郎飴」、特徴のない町並みでは道に迷い、面白味のない町並みでは「散策・散歩」が死語となりつつあります。

羨ましいことに、豊富町発祥の地「兜沼」には明治48年8月設置「①官設駅通所（現郷土資料館・梅村家私宅）」「②足立商店」など、昭和の風情漂う建築物、作り物ではない正に昭和そのものが残されています。

この「資源」を「サロベツ観光」に役立てる方法はないものか！

「兜沼キャンプ場」を組み込んだ兜沼市街地を「エコ・ミュージアム＝昭和の町」に見立て、多くの観光客が訪れる「キャンプ場営業期間」に「昭和の町並み」を再現する。

-
- A. キャンプ場営業期間中、①を臨時郵便局とし、利用者が到着したら「キャンプ場利用案内書等」を配達する。これにはBでの③割引券などを付ける。
 - B. キャンプに必要な食料品・薪などは、「②足立商店」で販売する。買い物時には①郵便局に立ち寄り③割引券を受け取る。
 - C. ③割引券には②足立商店での割引特典の他、④紙芝居鑑賞券などが付いている。
 - D. ④紙芝居は、豊富高校・郷土研究部発行の「とよとみの民話」に収録されているものを「紙芝居仕立て」にし、自転車に乗った紙芝居屋がキャンプ場や市街地で実演する。
 - E. ①郷土資料館などにある「開拓の道具」「昭和の道具」は、単なる展示物としてではなく、実際に稼働させる。使い方も極力、往事を再現する。安全を確保した上での薪割り等。
-

平成生まれの若者にとっては「末見の時代」、昭和生まれの最長老も82歳となり、懐かしさが募っている筈。大半のキャンプ場利用者も同様でしょう。初っぱなに書いた盛況な催事、映画のヒットが、その証です。

勿論、ここに登場する郵便局員・商店主・紙芝居屋をはじめとする豊富町民全員が「昭和の人間」を演じなければなりません。

「エコ・ミュージアム＝昭和の町」を演出する「⑤物語（アイデア）」は、まだまだ町内に潜在している筈です。

活動アイデアNo.47「ゴートゥーノース ツール ド 蝦夷」

「活動アイデアの内容」(詳細)

小樽～宗谷岬370km2日間のサイクリングのイベントを考えています。近年、佐渡や能登をはじめサイクリングの大会が二千人に迫る規模で行われるようになり、どこも申し込みが殺到、締め切りのずっと以前で定員に達する活況を呈しています。ただ、サイクリング大会であるにも関わらず前の方を走る参加者は景色よりも競争をしています。息子(12歳)と各地の大会に参加した私は、もっと景色や走ること、そして地域とのふれあいを楽しむ会、遅い方も完走してもらえる会、小学生や中学生でも完走ができそうであれば参加できる会、そして、あこがれの北海道を走る会、があればと思っていました。

自分が走りたい会を自分で企画したわけですからそんな会にするため、平均時速(35km/h～)17km/hで関門通過時刻を設定、また、各日100km程の地点で、強制1時間休憩(食事付)ポイントを設定するという計画です。2日目、羽幌を6時にスタートして、豊富町でちょうど100km弱になります。

休憩地点を探していたところ、貴町の応募企画を知ったわけです。

貴町HPを拝見させていただき、サロベツのレストハウスで食事できたらと考えました。もちろん、参加費から、食事代を出させていただきます定員100名で計画、豊富町には、速い方で9時、おそい方で12時と、バラバラと到着になるとみています。ここで、食事も含めて1時間の強制休憩時間を設定するので、到着者のチェックとか、自転車の駐輪場所(スタンドは付いていませんので、スタンドがわりに立てかけたりぶら下げたりできるものがあればベスト)を確保していただけたらと考え、アイデア応募に沿う物ではないかと応募させていただいた次第です。また、国道40号を横断して沼川方面に抜ける予定ですが、豊富市街地や国道の横断の誘導もお願いできないかと考えています。

まだ、警察で道路使用許可をお願いするなど、他にやることがたくさん残ったままの計画段階ではありますが、貴町にお知りいただきたく、応募いたしました。また、この企画への応募に関わらず、上記の計画での開催について、お力添えいただければと考えています。

当方、トレイルランニング等の開催を道路使用許可等も取らず極小規模で行っております個人ですが、この会は自転車を使用することもあり、スピードが速く危険も大きいため、各方面に公開し、また、サイクリング大会のここ数年の活況から考え、募集開始と同時に多数の参加希望が殺到すると思われるため、私としては大きい規模で開催しようと考えています。